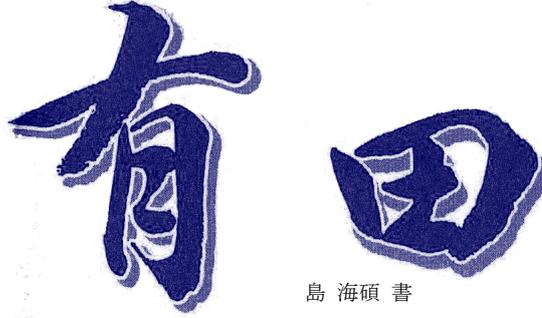


No.2971

2020-2021年度

会 長 橋爪 誠治
幹 事 井上 修平
R広報委員長 菅原 佳典



島 海碩 書

第2640地区

例会日 毎週木曜日 12:30
例会場 紀州有田商工会議所6F
事務所 〒649-0304
有田市箕島33-1
紀州有田商工会議所2F
有田ロータリークラブ
Tel (0737) 82-3128
Fax (0737) 82-1020
創 立 昭和34年6月15日
ホームページ <http://www.aridarc.jp>
e-mail office@aridarc.jp

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



2020-2021年度クラブ方針

自制心と結束力を繋ぐ理解のハーモニー
「学ぶLearning・感じFeeling・動くMoving」



本日のプログラム

令和3年5月20日 第2972回

- ・次期会長のための時間
松村 秀一 会長エレクト
- ・ソング：「それでこそロータリー」

前回の報告（第2971回例会）

開催日 令和3年5月13日(木)

点 鐘 [橋爪(誠)君]

今月の誕生・結婚祝 [川口親睦活動委員長]

会員誕生：應地君、大塚君、中元君
配偶者誕生：中元礼子さん、上野山りかさん
結婚記念：上野山(捷)君



おめでとう
ございます!!



ニコニコ箱の報告 [上野山(栄)SAA]

橋爪(誠)君：上野山栄作SP委員長様、クラブフォーラム開催準備本当にご苦労様でした。松村会長エレクト、未来の会長候補の皆様発表よろしくお願ひいたします。
井上君：本年度最後のフォーラムになります。皆様ご意見お願ひします。
松村君：クラブフォーラムよろしくお願ひします。
川口君：本日のクラブフォーラム宜しくお願ひ致します。
上野山(栄)君：本日のクラブフォーラムよろしくお願ひします。週報と一緒に意見書を送りますので20日までにFAXでお返してください。

次回のお知らせ

令和3年5月27日 第2973回

- ・クラブ協議会
次年度への申し送り
- ・ソング：「四つのテスト」

出席報告

本日の会員数28名
(出席規定免除会員9名)
出席会員数25名
(出席規定免除会員7名)

会長の時間 [橋爪(誠)会長]

「ロータリー財団」

ワクチン接種が有田郡市でもスタートしていくようです。有田市医師会をはじめ医療従事者皆様のご尽力がワクチン接種の成功に繋がります。大変お忙しくなるとは思われますが、新型コロナ終息に向け宜しくお願ひ申し上げます。



今週の卓話ですが、「ロータリー財団」についてお話です。

成川守彦会員よりロータリー財団2019-20年度の年次報告の資料をお借りさせていただきましたので、本日皆様にご紹介させていただきます。

全世界のロータリアンはコロナ禍の中でも、奉仕活動を頑張っておられたんだと感心しております。またネットワークを駆使し有効的な人道支援を企画したり、アイデアから若者とロータリアンの架け橋を模索したり、ロータリーの世界への繋がりは無限だと感じています。

本日、戦略計画委員会、上野山栄作委員長のもと中短期計画の発表がされます。松村会長エレクトにおかれましても、ワクチンの有効性が高まる時期までは、コロナの影響がまだまだ心配されるかもしれませんが、全世界の活動を刺激に、またネットワークの活用を参考に、有田ロータリークラブの奉仕への創造力を高めていただければ幸いです。

1. サンフランシスコの中華街にある救済施設で、食料とマスクを配布する(サンフランシスコ・チャイナタウンRC)
2. コスタリカ・カルタゴと米国テキサス州・デントンのロータリークラブ会員は、グローバル補助金を活用し、国際非営利団体CATIEと協力してエコツーリズムの協同組合をコスタリカに設立。地域密着型の観光事業の成長に貢献。
蝶の保護地区を管理し、組合活動の一部となる輸出向けに蝶を飼育。
地域密着型の観光業を根付かせるために、地元の方々にワークショップを通じて、マーケティングなどのビジネス研修を実施し自立を促す活動。
注) CATIE
(Centro Agronómico Tropical de Investigación y Enseñanza/熱帯農業研究高等教育センター)とは、農業の研究と大学院教育および天然資源の管理、保全、持続可能な利用を専門とするラテンアメリカとカリブ海の各国、及び地域をメンバーとする教育センターです。
3. ルワンダ初の公共図書館
ロータリー財団の補助金と、官民両方の支援をうけ、2012年にキガリ公共図書館が開園。
4. インド・ウッタールプラディッシュ州でポリオワクチンを管理し、予防接種キャンペーンで医療従事者が使用できるように準備。
5. 音楽のメタル音楽愛好家の親睦活動グループを作るアイデアが生まれ、23か国、164名の親睦を深めながら、若者の演奏スキル育成を支援するワッケン財団のためのファンドレイジングを行った。
6. ブラジル・ボア ビスタカカリRCは地元にあるベネゼエラ難民の避難所へ漂白剤を提供しました。このプロジェクトはユニセフとADRA internationalとのパートナーシップを通じて実現。
7. オーストラリア メルボルン ロービル リスターフィールドRCはオンライン形成でアーティストからデジタル版の作品の提供を受けて、販売で得た収益を地元の慈善団体とポリオ撲滅活動へ寄付。
8. ブラジル サンパウロのRCは国内にある1,000か所の高齢者ホームの入居者と従業員を検査する計画を立てる。

上記のような活動が難しい場合は、寄付という行為は、世界で奉仕活動してくれている方々へ、素晴らしいサポートとして届いていきます。

自分たちの行動力、アイデアで更なるステップアップを図ろうとする意欲高きクラブでありたいと願っております。

幹事報告 [井上幹事]

1. ロータリーレートは109円
2. 2021-22年度R財団地区補助金申請のご案内
3. 新型コロナウイルス感染症に関する「県民の皆様へのお願い」
4. 2023-2024年度ガバナー候補者選出について



5. 桜木の手入れは諸般の事情により中止
6. 5月27日 クラブ協議会(今年度→次年度各委員長への申送)
7. 6月10日 活動報告
8. 第11回定例理事会開催

ロータリー友誌 [菅原R広報委員長]

【横組】

P8～特集記事では海外にかかわる2名の方のインタビュー記事が掲載されています。

米山奨学生のハリームさんは現地の観光学を学びインターンで日本人観光客を見かけたところから日本への留学、米山奨学生に採用されロータリーとのかかわりができ自身の意識が変わっていったこと。社会へ貢献するという目標ができ、教育には未来を変える力があり将来はエジプトで大学教授となりエジプトの次世代の人材を育てる夢を持たれてインタナショナルスクールの設立に向け動き出しているとのこと。

ハリームさんは「恩返しエジプトツアー」などを企画されているようで旅の好きな私はいつか参加できる機会があればいいのになと読ませていただきました。

P18～「侃侃諤諤」では“新型コロナで得たこと失ったこと”と題し、会社を居酒屋にしまった方、書店で見かけた本からロータリアンはアマビエのごとくコロナ禍を生き抜きポリオを根絶し疫病退散勢力になろうと呼びかける人、コロナ禍で外出が少なくなり本を書いた人、ピアノに挑戦した人などコロナ禍を前向きに生きるロータリアンの記事が掲載されています。

P45 会員数一覧表を見るとこの1年で全国では3千名強のメンバーが減少し当地区でも150名近くのメンバーの減少が見て取れます。

【縦組】

P4～2530地区のIMでの佐久間氏の基調講演「子どもたちの健やかな心を育む」が掲載されています。人の成長、発達障害についてはASDとADHDについて詳しく語られ、子供たちを良いほうに導く育て方が語られています。我が家の孫の育て方にも役立つ内容でした。

P20～ロータリーアットワークで気になった記事

- ・子ども食堂の形を変えた事業
- ・「駅ピアノ」の設置
- ・地区補助金を利用した非接触体温計の寄贈
- ・休会で浮いた例会費を利用した医療用ゴム手袋の寄贈
- ・だがしの日イベント
- ・留学生への食糧支援

各クラブがコロナ禍の中工夫した事業を行われていることに感心しました。特に子供たちや留学生に対する事業に興味がありました。

第3回クラブフォーラム



戦略計画委員会
上野山栄作 委員長

第1回目のフォーラムではビジョン声明について、第2回目では戦略的優先事項について会員の皆さんの意見を頂きました。今回の第3回のフォーラムの目的は、戦略的優先事項(第2回目発表)の意見を元に委員会で再検討した4つの優先事項について、そしてその優先事項に基づく年次目標(3年間)についての意見を意見書に記載いただくことです。

●有田RCのビジョン声明
「有田ロータリークラブは 会員の自己研鑽と持続可能な社会の実現をめざして協力し合い行動します」

2回目のフォーラムでの優先事項(案)

- ①有田の若者に夢を(青少年育成・就労支援)
 - ②持続可能な有田へ(域内経済循環・魅力あるまちづくり)
 - ③世界に良い変化を(RI推奨の国際奉仕・重点分野)
 - ④親睦を深める(多様な会員組織・活動を楽しむ・自己研鑽)
 - ⑤職業倫理を高める(高潔性・職業奉仕)
- に対する意見として、
- ・5つは会員数も少なく難しく力の分散になる。
 - ・達成の基準が見えにくい。
 - ・先ずは一つに絞らなければならない。
 - ・RIの方針も踏まえつつ有田に重きを置いたものが良い。
 - ・例会を重視する目標を入れて欲しい。
 - ・高潔さを重んじる人材育成が原点だと考える等、意見をいただきました。これらの意見を踏まえ委員会で再度、優先事項を検討し、行動する目標2つと内部的な目標2つの以下の4つの優先事項を決定しました。

- 有田RC 4つの優先事項
- 持続可能な有田へ**「action 1」
(青少年育成・域内経済循環・魅力あるまちづくり)
- 世界に良い変化を**「action 2」
(RI推奨の国際奉仕・RI重点分野への取り組み)
- 自己研鑽** 「in-club 1」
(多様性・積極性・高潔性・親睦)
- 適応力** 「in-club 2」
(組織変革・チャレンジ・リーダーシップ)

●2021-2022年度の年次目標



会長エレクト
松村秀一 君

- リモート環境を整える:リモートで全員が例会に参加できればよいと思っています。あと一歩でZOOM参加できる方もおられると想像しています。サポートしたいと思います。
- インターネットを駆使できる人材育成:リモート例会の準備ができる人材等を増やし一部の人に負担が集中しないようにしたい。
- 3000回記念例会:次年度の終わりごろに大きな節目である第3000回例会がめぐってきます。その例会をオープン例会などにして開催したい。
- 職業紹介事業の幅を広げる:高校での職業紹介事業を近隣クラブと合同で開催し学校の数も増やしたい。
- 米山学友:この10年で4名の米山奨学生世話クラブになりました。3名が日本に1名は海外にいます。彼らと有田ロータリークラブ会員とリモートで交流したい。

会員みな様のご協力をよろしくお願ひいたします。

●2022-2023年度の年次目標



戦略計画委員
井上修平 君

- 多様性のあるWEB活用が出来るクラブへ
従来の例会+WEB例会を活用して
(有田地域の会員を中心に他所の方も入会可 多様な会員に)
- 多言語化
- ミャンマーとリモートで繋がり事業を考える

有田ロータリークラブの精神に共感でき、入会を希望するが対面式ではどうしても毎週の例会に出席できないので入会できないのは非常に残念である。
そこで、インターネットを使った例会を積極的に活用し、会員増強に注力していきたい。
インターネットには距離の制約がないので有田地域以外への入会を目指したい。
但し、インターネットを使った例会は対面式例会の2階部分であって1階の対面式例会を疎かにしてはいけない。

●2023-2024年度の年次目標



戦略計画委員
川口健太郎 君

上記の4つの優先事項と年次目標(3年度分)について
会員皆様の意見を頂戴し(意見書記入分析)最終的な
本年度の戦略計画を完成させる事と致します。

閉会・点鐘

〔橋爪(誠)会長〕

○職業紹介事業の拡大。他団体と共同企画(action1)
【解説】有田域内県立高校と有田3クラブからの企業との
共催により、有田地域にも多種多様な職種を見て頂くとも
に人材を求める企業とのマッチングを行うことにより若
者の有田定住と人材を必要とする企業の両面を繋ぎクラ
ブの存在感を上げていく。

○地域の魅力を引き出す。県外まちづくり団体との交流
(action1)

【解説】私たちが生まれ育った海山川ある有田は素晴ら
しい地域であります。では何が素晴らしいのか？そこに
暮らすと見えていない事が様々な目線から新たな有田の
魅力を認識できる機会を創ります。それは他地域でまち
づくりを行う団体との交流が会員の目を肥し、気付きをも
たらし気付きが行動となると考えています。

○国際奉仕を身近に。クラブとしてSDGs宣言(action2)

【解説】RIが推奨する国際奉仕にどこか遠い存在としてい
ないでしょうか？もっと身近に感じ個人団体問わず貢献
できる仕組みとして昨今メディアでもよく取り上げられて
いるSDGs(持続可能な開発目標)として2015年国連サ
ミットと採択された2030年に達成される17の項目を指しま
す。RI理事会が指定した特別月間もより身近に感じる仕
組みを創ります。

○米山奨学生から国際奉仕を考える。これまで携わった
奨学生と繋がる(action2)

【解説】これまで担当した各国米山奨学生と繋がり相手
の国を深く知る。そこから何が求められる国際奉仕かを 有
田RC独自で考えて、これからの国際奉仕の指標が見え
てくるのではないのでしょうか。

○四つのテストを深める。周知と再認識が会員また会員
企業の高潔性を育む(in-club1)

【解説】ロータリークラブの根幹であり、覚えやすいが行い
難し。四つのテストを実践しその結果が会員又は会員企
業に何をもたらすか、会員同士が分かち合いより深める。

○多様な組織づくり。幅広い新たな出会いを模索(in
-club2)

【解説】活気ある有田ロータリークラブを持続するには、こ
れから多種多様な会員が必要であると感じます。これま
での運営を元として、世間的に固定されたイメージから一
歩踏み出し、新たな仲間を創りましょう。



日程	6月の例会プログラム
6/3(木)	会員卓話 成川 守彦 君 「ロータリーは大きく変わるの か？ロータリー未来形成委員会 について」
6/10(木)	委員会活動報告
6/17(木)	休会
6/24(木)	最終例会 会長・幹事報告 外部卓話 飯豊 聡 氏 (損害保険ジャパン(株) 代表取締役副社長執行役員) 「ニューノーマルな適応経営」

